

# インクルーシブセーリング東日本選手権大会 2025

## ・パラセーリング東日本選手権大会 2025

### Sailing Instructions

### 帆 走 指 示 書

#### 1. 適用規則

- 1.1 本大会にはセーリング競技規則(RRS)2025～2028 およびハンザ 2.3/303/リバテイククラスルールに定義された規則を適用する。  
下記の RRS は次のように変更される。
- 1.2 RRS41(外部の援助)は変更され、参加者の安全確保の目的に限り、口頭での指示は許される。
- 1.3 RRS61.1(a) は次のように変更される。インシデントの際に可能な限り「プロテスト」の掛け声は規則により要求されるが、競技者に肉体的ハンディキャップ等がある場合には、掛け声は抗議の要件とはならず、競技者は審問にあたり「プロテスト」の声を掛けられなかった正当理由を説明する必要がある。
- 1.4 RRS41(外部の援助)は変更され、参加者の安全確保の目的に限り、口頭での指示は許される。
- 1.5 RRS61.1(a) は次のように変更される。インシデントの際に可能な限り「プロテスト」の掛け声は規則により要求されるが、競技者に肉体的ハンディキャップ等がある場合には、掛け声は抗議の要件とはならず、競技者は審問にあたり「プロテスト」の声を掛けられなかった正当理由を説明する必要がある。
- 1.6 競技規則 40 は、次のように変更される。  
競技者は、競技をしていないときや、衣服または救命胴衣の交換または調整中、個人衛生の理由のために、一時的に取り外す場合を除き、海上にいる場合は常に救命胴衣装置を着用するものとする。この要件は、テクニカル委員会の判断と、クラス協会との協議の後、従来の PFD の装着が安全性を低下させる重度障害者の場合には、実施されないものとする。
- 1.7 ハンザ (Liberty) クラス規則 C6.4 の乗員重量の平均化についての規則は適用しない

## 2. 競技者への通告

2.1 競技者への通告は、レースオフィス前の公式掲示板（ホワイトボード）に掲示する。

## 3. 帆走指示書の変更

3.1 帆走指示書の変更は、それが発効する当日の各クラスの30分前までに通告する。

## 4. 陸上で発せられる信号

4.1 陸上で発する信号は、レース・オフィス近くの信号柱に掲揚する。信号がクラス旗の上に掲揚された場合は、そのクラスにのみに適用する。

4.2 [DP]音響1声と共に掲揚されるD旗は、「予告信号は、D旗の掲揚後5分以降に発する。艇は、この信号が発せられるまで棧橋から離岸してはならない」ことを意味する。

## 5. レース日程

日付	種 目	第1レース予告信号予定時刻
6月7日 (土)	ハンザ303	<b>12:55</b>
	ハンザ2.3	<b>13:00</b>
	上記以降は進行状況に応じて実施する。	
6月8日(日)	ハンザ303	<b>9:55</b>
	ハンザ2.3	<b>10:00</b>
	上記以降は進行状況に応じて実施する。	

5.1 引き続きのレースのスタート順番は上記の順番とは異なることがある。

5.2 該種目の最大レース数は3レースとする。

5.3 **14:00**以降のスタート予告信号は発しない。

## 6. クラス旗

種 目	記章の色	カラーバックグラウンド
ハンザ2.3	青	白
ハンザ303	赤	白
リバティ	白	赤

## **7. レースエリア**

7.1 添付 A はレースエリアの位置を表す。

## **8. コース**

8.1 添付 B のコース図は、レグ間の概の角度、通過するマークの順序、それぞれのマークのどちら側を通過するかを含むコースを示す。

## **9. マーク**

9.1 マーク 1・2 は、黄色の円筒形マークとする。

9.2 スタートピンとフィニッシュピンとマーク 2 は同一とし、黄色の円筒形マークとする。

9.3 スタート・マークとフィニッシュマークは、レース委員会艇とする。

## **10. スタート**

10.1 レースは RRS26 を用いて行われ、予告信号をスタート信号の 5 分前にしてスタートさせる。

10.2 スタートラインは、スターボードの端に位置するレース委員会シグナルボートのオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端に位置するマークの間とする。

10.3 [DP] 予告信号が出されないクラスの艇は、他のクラスの予告信号からスタートするまでの間は、レースエリアを避けなければならない。

10.4 スタート信号後 4 分以内にスタートしない艇は、審問なしに「スタートしなかつた (DNS)」と記録される。これは付則 A4 と A5 変更している。

## **11. コースの次のレグの変更**

11.1 コースの次のレグを変更する際、レース委員会は、元のマークを移動し正しい位置に設置する。

## **12. フィニッシュ**

12.1 フィニッシュラインは、添付図 B に示すレース委員会艇の青色旗を掲揚しているポールと、黄色の円筒形のマークとの間とする。

## **13. ペナルティ方式**

13.1 RRS44.1 を変更し、2 回転ペナルティを 1 回転ペナルティに変えて適用する。

## 14. タイムリミットとターゲットタイム

- 14.1 スタート信号後 15 分以内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合、レースは中止される。
- 14.2 レースのターゲットタイムは最初のボートがフィニッシュするまで 30 分とする。ターゲットタイムどおりにならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは RRS62.1(a)を変更している。
- 14.3 最初の艇が RRS28.1 に従って、コースを帆走してフィニッシュした後、10 分以内にフィニッシュしなかった場合、その艇は審問なしに「フィニッシュしていなかった(DNF)」と記録される。これは RRS35, A4 と A5 を変更している。

## 15. 審問要求

- 15.1 プロテスト書類はレースオフィスで入手できる。抗議及び救済要求または審問再開の要求は、適切な締め切り時間内にレースオフィスに提出されなければならない。
- 15.2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻は最終レース終了時刻後、またはレース委員会が、これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 30 分とする。
- 15.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問があることを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告が掲示される。
- 15.4 レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS61.1(b)に基づき艇に伝えるため公式掲示する。
- 15.5 審問の当事者は、判決を通告されてから後 30 分以内に審問の再開を要求することができる。
- 15.6 プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 30 分以内に提出されなければならない。これは RRS62.2 を変更している。
- 15.7 チャーター艇の偽装品の不具合については、救済の要求の根拠とはならない。これは RRS62.1(a)を変更している。

## 16. 得点

- 16.1 シリーズは、各クラス 3 レースを予定する。また、大会の成立には、1 レースを完了することが必要である。
- 16.2 艇のシリーズの得点は、全てのレース得点の合計とする。
- 16.3 完了したレース得点に間違いがある場合、その艇は間違いを正すことを提言するため、レースオフィスで入手できる得点質問票を提出することができる。

## **17.安全規定 [DP]**

- 17.1 選手は、出艇前および帰着後すみやかに申告用紙に出艇または帰着のサインをしなければならない。
- 17.2 レースからリタイアする艇は、レース委員会に通知しなければならない。そうでない場合には、陸上に戻った後できるだけ早く、且つ抗議締め切り時間までにリタイア申告書を記入して、レースオフィスに通知しなければならない。

## **18.乗員の交代と装備の交換 [DP]**

- 18.1 競技者の交代は、レース委員会の事前承認なしでは許可されない。
- 18.2 損傷または紛失した装備の交換には、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、テクニカル委員会に対して行わなければならない。
- 18.3 実行委員会からチャーターした艇及び艀装品には、いかなる改造も加工も行ってはならない。

## **19.大会広告 [DP]**

競技者は、艇に大会実行委員会よって供給された大会広告を掲示しなければならない。

## **20.運営艇**

- 20.1 運営艇の識別は次のとおりとする。
  - 20.1.1 レース委員会艇は RC 旗を掲揚している。
  - 20.1.2 レスキューボートは RESCUE 旗を掲揚している

## **21.ごみの処分**

ごみは、支援艇または大会運営艇に渡してもよい。

## **22.賞**

賞はレース公示の通りとする。

## **23.リスクステートメント**

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認め

ることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。**セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。**

## 24. 肖像権とメディア

競技者は今大会に参加することにより、レースや大会中に撮影された写真やビデオの撮影、再使用、出版、再発行に同意している事とする。これらは名前と一緒に、報酬なしで、競合他社の画像やその使用の承認なしに、いかなる媒体でも使用することができるものとする。

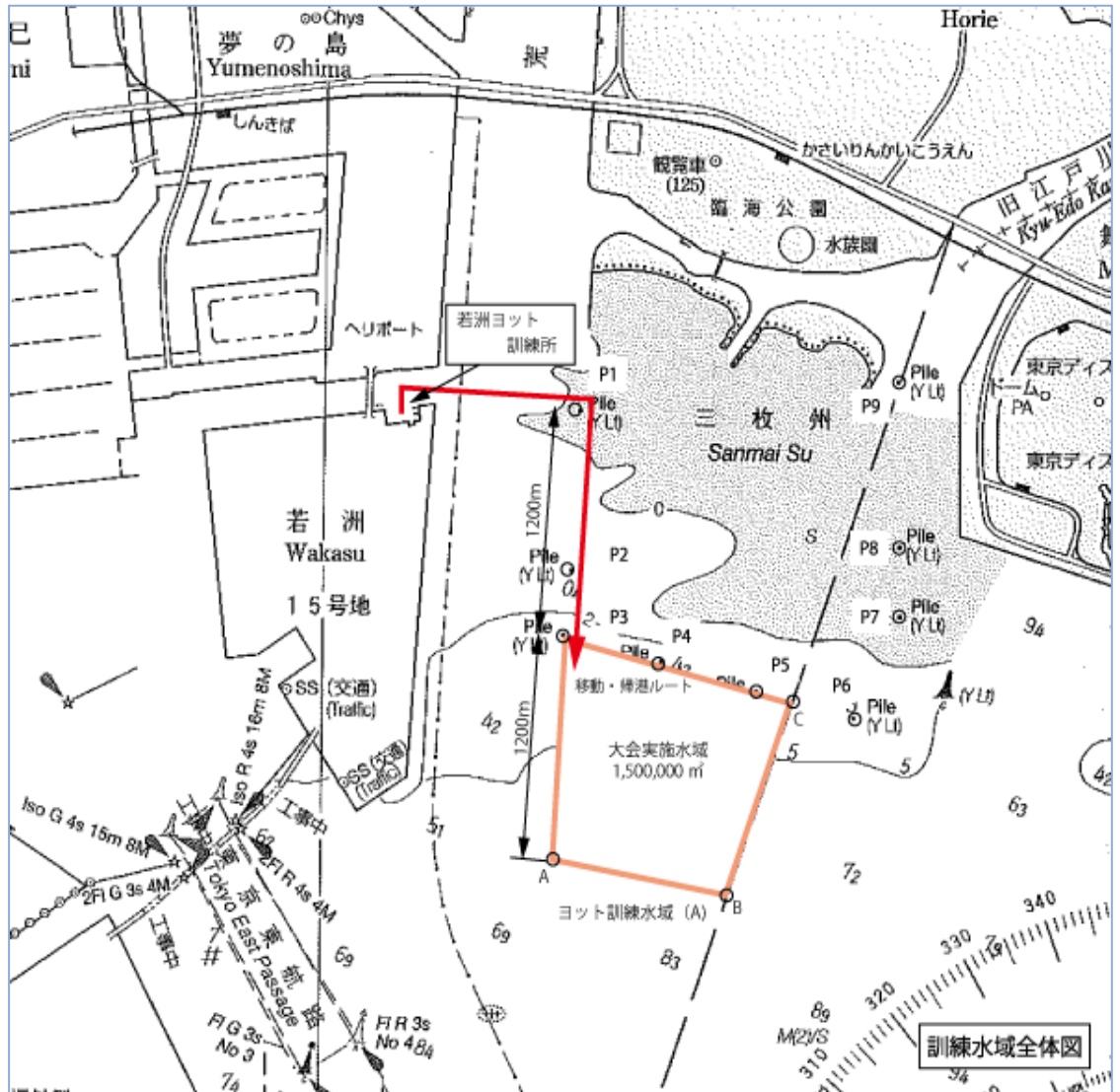
## 付記

ハンザ 2.3/303/リバティークラスルール

RRS49.1 を次のように変更する。

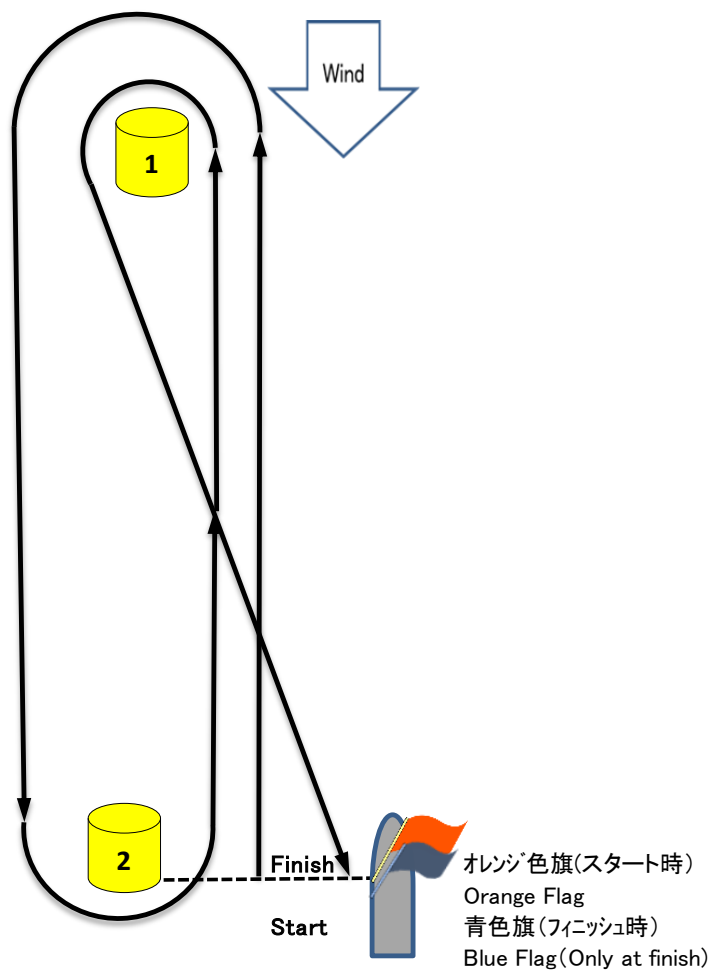
- ・競技者の臀部は、レース中は常にシートの座面に接触したままであり、シートのサポートバーに座ってはならない。
- ・一人乗りの配置 競技者は、下肢がジョイスティックとキールケーシングにまたがる体勢でレースをしなければならない。
- ・二人乗りの配置 各各競技者の下肢がキールケーシングのそれぞれの側にくるように、シートのそれぞれの側に座らなければならない。
- ・競技者の胴体は、コントロールラインを調整する場合を除いて、ジョイスティックの後方に位置しなければならない。

# 添付図 A レースエリア



## 添付図 B レースコース

### 葛西沖のコース図(ソーセージ)



Course L : Leeward/Finish

Mark Rounding Order	
L1	Start-1-Finish
L2	Start-1-2-1-Finish